

より安全にお使いいただくために『二重安全使用法』を！

Ver.210106

不慮の事故を防止するために『二重安全使用法』を実施してください。

路面状況や走行状況、タイヤ重量など様々な要因によって求められるチェーン(またはロープ)の強度は異なります。チェーン(またはロープ)はお客様にてご用意ください。

1. なぜ『二重安全使用法』が必要なのか？

スペアタイヤは運転席から離れた場所に吊られていることが多く、ぶついたりしても気付にくいものです。

悪路走行や雪道のわだちなど、スペアタイヤ衝突の原因は多々あります。

時々「スペアタイヤキャリアが壊れた」などの情報が届きます。

現品を回収し調べてみると、ほぼ100%異常な力が掛かった痕跡があります。

つまり、**スペアタイヤをぶつけたのにもかかわらず気付かずにいて、そのうちにSTCが壊れてしまう**のでしょう。

STC内部の異常は、外観からでは点検できません。

その結果、最悪の場合は、走行中にスペアタイヤを落としてしまうこともありえます。

そうならないように、是非、チェーン(またはロープ)を別途に用意し『二重安全使用法』を実施してください。

スペアタイヤの落下を一時的に回避できます。

タイヤ落下による**自損事故(乗り上げ)防止**や**後続車などの保護**のために、『二重安全使用法』の実施は

トラックユーザーの責任です！！

2. 『二重安全使用法』のポイント

①STC取り付けブラケットではなく、**シャシーフレームにチェーンを巻く**とより安全です。

スペアタイヤをぶつけると、STCの取り付けブラケットもダメージを受けます。

ブラケットごとの落下を防ぐには、シャシーフレームへチェーンを巻くことが有効です。

②チェーンを**複数本**使うとより安全です。

タイヤがSTCから外れたとき、力が複数本のチェーンに分散されるので、チェーンが破壊される恐れが少なくなります。

③(複数本のチェーンで)タイヤの左右両方を巻く方法でない場合は、車の**進行方向側にチェーンを巻いてください**。タイヤがSTCから外れたとき、引きずるようになります(右上図)。

逆に進行方向と反対側だけだと、外れたタイヤに乗り上げたり巻き込んだりする恐れがあります(右下図)。

④チェーンをできるだけ**ピンと張る**とより安全です。

タイヤが脱落した場合、落下距離が短いほどチェーンに掛かる力が軽減できます。

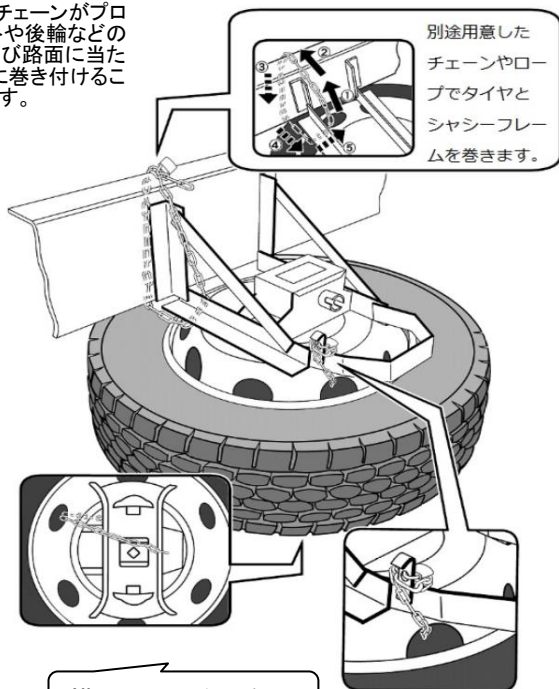
チェーンをピンと張った方が、チェーンが破壊される恐れが少なくなります。

⑤チェーンを、ホイールの飾り穴ではなく、**タイヤの下を通す**とより安全です。

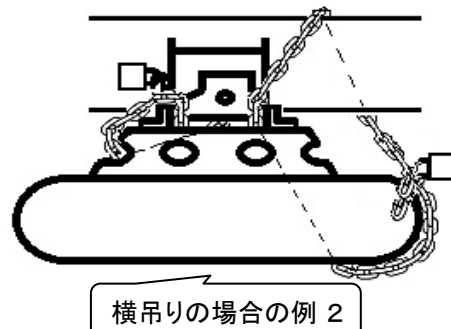
パンクやバーストで空気が抜けたタイヤに有効です。

3. 『二重安全使用法』の例

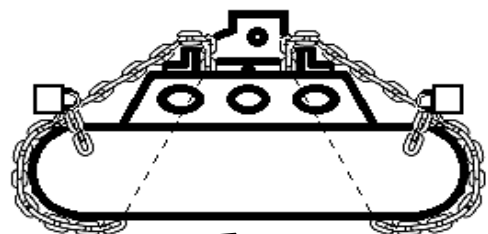
様々な状況においてスペアタイヤやチェーンがプロペラシャフトや後輪などの駆動部および路面に当たらないように巻き付けることが重要です。



横吊りの場合の例 1



横吊りの場合の例 2



(後方)中央吊りの場合の例



③の説明